

2022年度
2022年8月～2023年7月

環境経営レポート



Eco Assist

エコアシストは、廃棄物の再利用による循環型社会を目指しています。

2023年10月1日

有限会社 エコアシスト



®環境省

エコアクション21
認証番号 0011807

【目 次】

1. 組織の概要	
(1) 事業者名及び代表者名 P3
(2) 所在地 P3
(3) 設立年月日 P3
(4) 資本金 P3
(5) 責任者及び事務局 P3
(6) 連絡先 P3
(7) 認証登録範囲 P3
(8) 事業規模及び処理実績 P3
(9) 許可の内容 P4
(10) 産業廃棄物処理工程図 P5・6
(11) 許可車両 P7
(12) 処理料金 P7
(13) EA21組織図 P7
2. 環境経営方針 P8
3. 環境経営目標 P9
4. 主要な環境経営計画 P10
5. 環境目標の実績 P11・12
6. 環境経営計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容 P13
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無 P14
8. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果 P15
9. その他 環境活動紹介 P16～P18

1. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

有限会社 エコアシスト
代表取締役 杉本 隆喜

(2) 所在地

本社 〒830-0111
福岡県久留米市三潴町西牟田5251
うきは工場 〒839-1413
福岡県うきは市新川字盗人馬場457-29

(3) 設立年月日

設立 平成13年8月29日

(4) 資本金

300万円

(5) 責任者及び事務局

環境管理責任者 一木 健吾
EA21事務局担当者 中尾 圭志
山本 由佳

(6) 連絡先

TEL 0942-54-6151
FAX 0942-54-6165
メール ecoassist@cronos.ocn.ne.jp

(7) 認証登録範囲(全組織・全活動)

対象範囲: 本社、うきは工場

事業活動: 産業廃棄物収集運搬業、一般廃棄物収集運搬業
産業廃棄物処分業
コンサルティング業務、有機肥料生産販売業

(8) 事業規模及び処理実績(事業年度8月～翌年7月)

項目	単位	2018年度 (18期)	2019年度 (19期)	2020年度 (20期)	2021年度 (21期)	2022年度 (22期)
売上高	百万円	331	369	378	415	474
従業員	人	25	25	29	31	31
床面積	m ²	1,477	1,477	1,477	1,477	1,477
産業廃棄物収集運搬量	t	3,794	4,386	4,349	4,408	5,413
産業廃棄物中間処理量	t	3,832	4,408	4,497	4,624	4,841
一般廃棄物収集運搬量	t	732	669	584	343	587

(9) 許可の内容

産業廃棄物収集運搬業

地区	許可番号	有効期限	取扱い品目
福岡県	第04000081394号	令和3年12月17日 ～ 令和8年12月16日	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、がれき類、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物
佐賀県	第04103081394号	令和4年1月21日 ～ 令和9年1月20日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず及びがれき類並びに廃プラスチック類、金属くず及びガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物
長崎県	第04200081394号	令和3年7月6日 ～ 令和8年7月5日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物
熊本県	第04305081394号	令和3年7月21日 ～ 令和8年7月20日	紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、廃プラスチック類、動植物性残さ、ゴムくず、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物
大分県	第04406081394号	令和5年5月15日 ～ 令和10年5月14日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず等、がれき類、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物
山口県	第03500081394号	令和3年8月12日 ～ 令和8年8月11日	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、がれき類、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物
宮崎県	第04504081395号	令和5年6月26日 ～ 令和10年6月25日	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、がれき類、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物
鹿児島県	第04600081396号	令和5年7月25日 ～ 令和10年7月24日	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、がれき類、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物

一般廃棄物収集運搬業

地区	許可番号	有効期限	取扱い品目
久留米市	第1008号	令和4年4月1日 ～ 令和6年3月31日	燃やせるごみ、空カン・空ビン及びペットボトル 以上事業系一般廃棄物に限る

産業廃棄物処分量

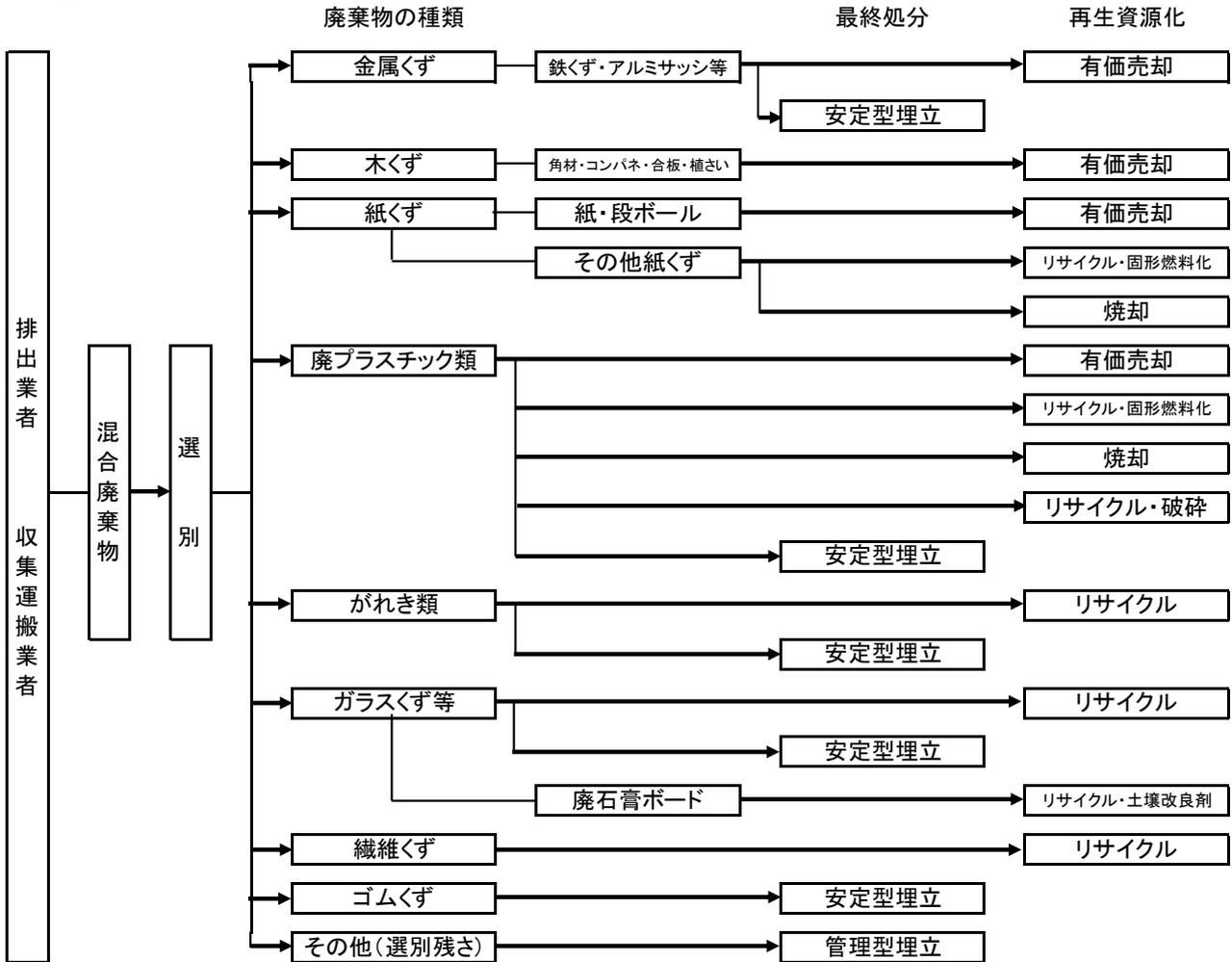
地区	許可番号	有効期限	取扱い品目
久留米市	第11220081394号 選別・分離・圧縮	平成30年5月28日 ～ 令和7年5月27日	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、がれき類
福岡県	第04020081394号 発酵・圧縮梱包・圧縮固化解砕・切断	令和2年12月21日 ～ 令和7年12月20日	汚泥、廃酸、廃アルカリ、動植物性残さ、動物のふん尿 プラスチック類、金属くず、紙くず、繊維くず、ゴムくず

処理施設の内容

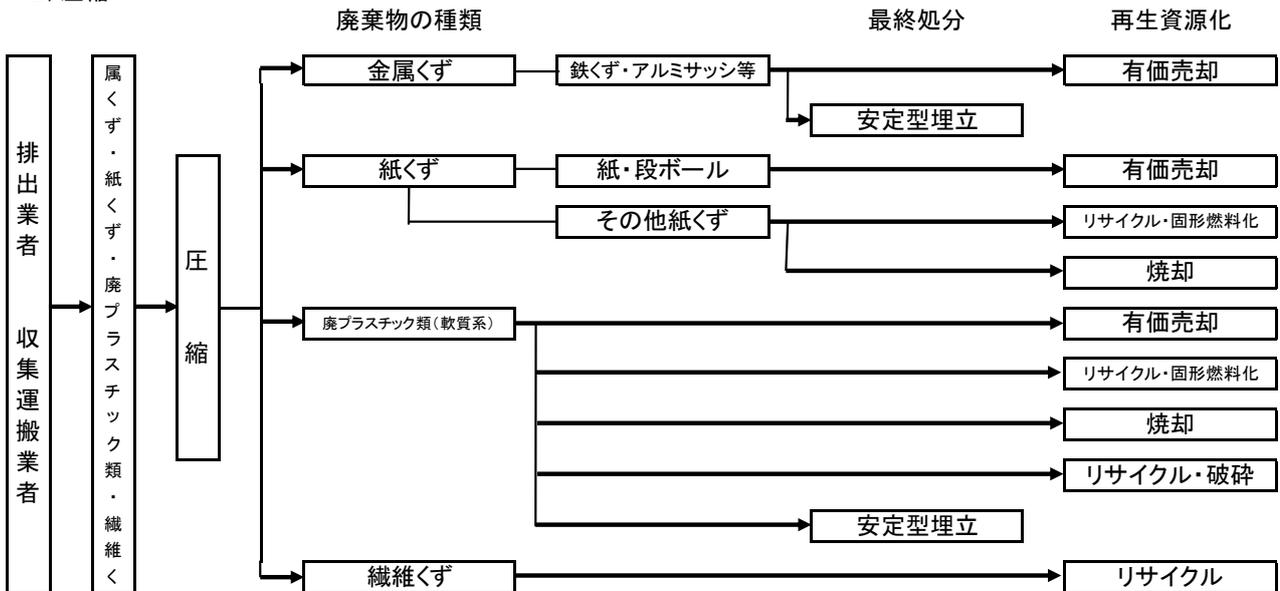
施設名	処理能力	処理品目
選別施設	31.2t/日(8時間)	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、がれき類 以上8品目
分離施設	36.6t/日(8時間)	廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、金属くず、動植物性残さ 以上5品目
圧縮施設	34.5t/日(8時間)	廃プラスチック類
	82.5t/日(8時間)	金属くず
	20.2t/日(8時間)	紙くず
	21.1t/日(8時間)	繊維くず
発酵施設	4.92t/日(24時間)	汚泥、廃酸、廃アルカリ、動植物性残さ、動物のふん尿 以上5品目
圧縮梱包施設	348t/日(8時間)	廃プラスチック類、金属くず、紙くず、繊維くず、ゴムくず 以上5品目
圧縮固化解砕施設	1.6t/日(8時間)	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず 以上4品目
破砕施設	4.09t/日(8時間)	廃プラスチック類
	3.97t/日(8時間)	紙くず
	1.62t/日(8時間)	繊維くず
	4.8t/日(8時間)	ゴムくず
切断施設	118t/日(8時間)	廃プラスチック類
	101t/日(8時間)	紙くず
	40.5t/日(8時間)	繊維くず
	175t/日(8時間)	ゴムくず

(10) 産業廃棄物処理工程図

1) 選別

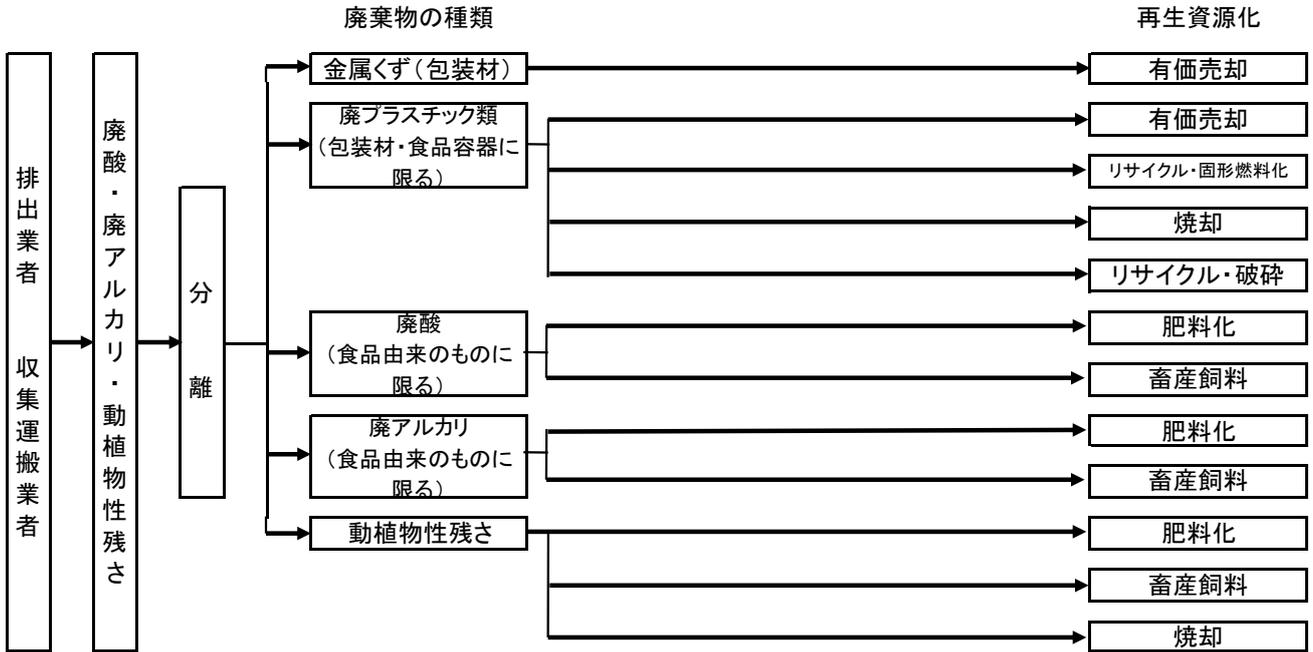


2) 圧縮

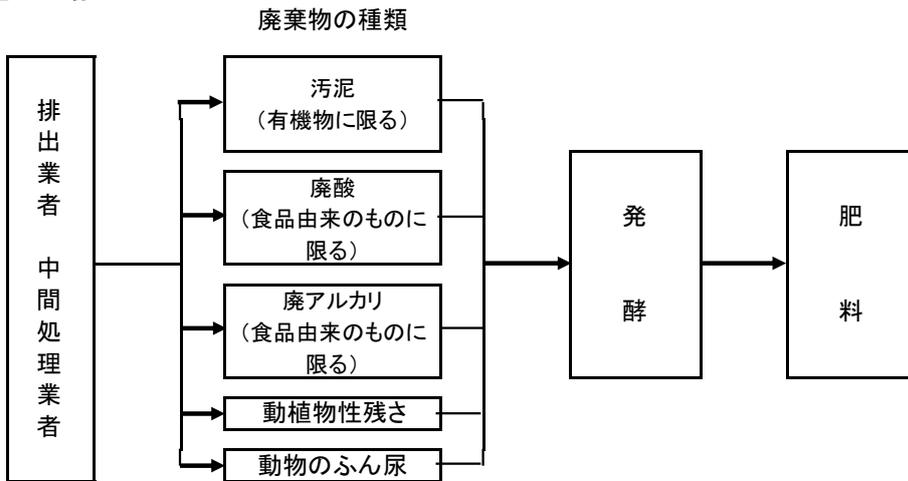


(10) 産業廃棄物処理工程図

3) 分離



4) うきは工場



1) 選別機



2) 圧縮機



3) 分離機



4) うきは工場



(11) 許可車両

車種	車両ナンバー	最大積載量(kg)
パッカー車	久留米800 さ 4294	1,750
パッカー車	久留米800 さ 3905	2,450
パッカー車	久留米800 す 2863	2,650
パッカー車	久留米800 さ 6411	3,100
パッカー車	久留米800 さ 9895	1,600
パッカー車	久留米800 さ 831	1,650
平ボディー車	久留米400 ち 7727	2,000
平ボディー車	久留米100 す 8437	4,050
平ボディー車	久留米100 は 2958	8,400
平ボディー車	久留米11 す 7166	4,250
平ボディー車	久留米11 す 7259	3,400
ユニック車	久留米100 は 263	2,000
ユニック車	久留米100 す 8505	2,500
クラム車	久留米100 さ 7090	2,750
クラム車	久留米100 さ 9771	2,000
クラム車	久留米100 せ 1721	2,700
ダンプ車	久留米400 た 2470	2,000
ダンプ車	久留米100 す 8978	3,350
コンテナ車	久留米100 せ 273	3,850

(12) 処理料金

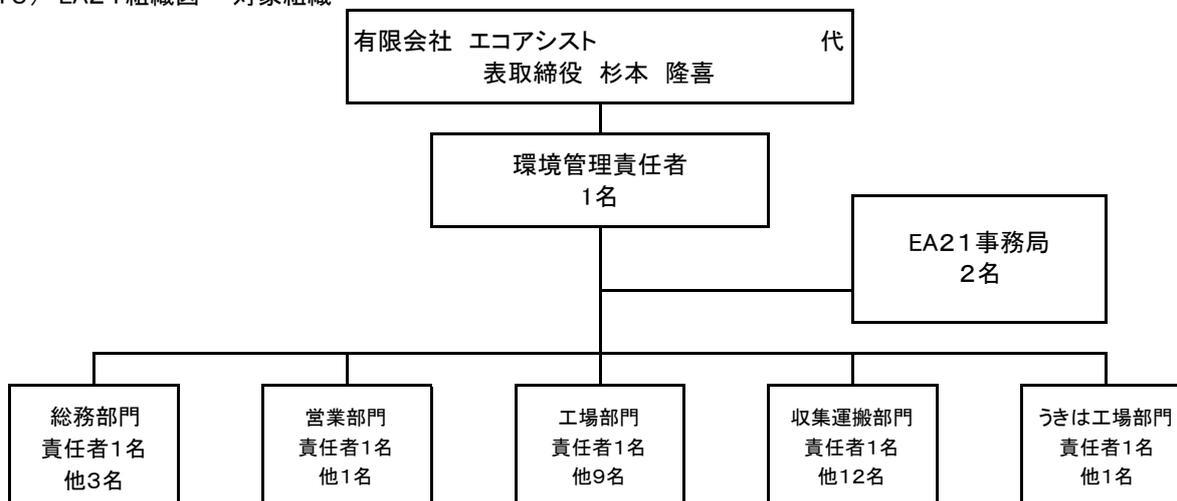
廃棄物の内容に応じてご相談を承り、お見積りを設定させていただきます。

処理料金の一例(消費税別)

- ・混合物 5,000円～。(回収物の種類によって変動いたします)
- ・木くず・廃プラスチック類 5,000円～。(状態、形状、材質等によって変動いたします)

廃棄物の種類、量、回収方法等をもとに計算いたします。お見積りは無料となっております。

(13) EA21組織図 対象組織



2. 環境経営方針

基本理念

有限会社エコアシストは、産業廃棄物の処理事業の中で、地球環境に与える負荷軽減のため、全社員で自主的・積極的に省エネ・省資源・リサイクル率アップなど、地球環境の保全に配慮した活動やSDGsの目標達成に向けて取り組みます。

基本方針

- 1、下記事項に重点的に取り組みます。
 - (1) 車両のエコドライブによる排気ガス軽減・燃費向上、電気の省エネルギーの推進で、二酸化炭素排出量を削減します。
 - (2) 取引先へ廃棄物のリサイクル率アップの提案を行う。
 - (3) 作業終了後の清掃を徹底し、環境美化に努めます。
 - (4) 作業効率を上げ、用水を有効利用し、水使用量を削減します。
 - (5) 事務用品及び備品等のグリーン購入を推進します。
- 2、産業廃棄物の選別の徹底により、廃棄物最終処分率を低減します。
- 3、会社周辺の清掃活動を行い、地域と密着した活動を推進します。
- 4、関係する環境関連法規を遵守し、環境保全に取り組みます。
- 5、環境方針を全従業員に管理活動を通じて周知徹底させると共に、環境経営レポートを作成し、環境保全への取り組み状況を公表します。
- 6、環境経営の継続的改善を実施します。

制定日 平成 28年 8月 1日
改定日 令和 4年 8月 1日

有限会社 エコアシスト
代表取締役 杉本 隆喜

3. 環境経営目標

4ヶ年計画 2020年度～2023年度

取組み項目	2018年度基準値	2018年度比			
		2020年度目標	2021年度目標	2022年度目標	2023年度目標
1. 二酸化炭素排出量の削減(全社) (kg-CO2)	335,980	329,261 2%削減	325,901 3%削減	322,541 4%削減	319,181 5%削減
①電気使用量の削減 (kWh)	27,830	27,273	26,995	26,717	26,439
(kg-CO2) (本社)	11,911	11,673 2%削減	11,553 3%削減	11,435 4%削減	11,315 5%削減
②電気使用量の削減 (kWh)	110,497	108,287	107,182	106,077	104,972
(kg-CO2) (うきは工場)	47,292	46,346 2%削減	45,573 3%削減	45,400 4%削減	44,927 5%削減
③ガソリン使用量の削減 (L)	3,531	3,461	3,425	3,390	3,354
(kg-CO2)	8,199	8,035 2%削減	7,953 3%削減	7,871 4%削減	7,789 5%削減
④軽油使用量の削減 (L)	101,872	99,834	98,816	97,797	96,778
(kg-CO2)	267,347	262,060 2%削減	259,327 3%削減	256,653 4%削減	253,980 5%削減
2. 受託産業廃棄物の最終処分率の低減	合計 3,832.87t 埋立処分 395.49t 処分率 10.3%	処分率 10.1%	処分率 10.0%	処分率 9.9%	処分率 9.8%
		2%低減	3%低減	4%低減	5%低減
3. 取引先へ廃棄物のリサイクル率アップの提案	提案した取引先 会社数 2社	毎年実施する会社 2社 2社 2社 2社 2社			
4. 作業終了後清掃を徹底し環境美化の推進	清掃取組実施回数 把握できていません	1回/稼働日	1回/稼働日	2回/稼働日	3回/稼働日
5. 水使用量の削減	2019年度基準 375 m	2019年度比 368 2%削減	2019年度比 364 3%削減	2019年度比 360 4%削減	2019年度比 356 5%削減
6. グリーン商品の購入推進	購入実績 2品目	毎年2品目購入 2品目以上 2品目以上 2品目以上 2品目以上			
7. 地域環境保全活動の推進	会社周辺の清掃 活動回数 毎月2回	2018年度実施回数を維持 毎月2回 毎月2回 毎月2回 毎月2回			

備考：使用電力の二酸化炭素排出量は、2017年度調整後の排出係数を使用。

(みやまスマートエネルギー0.475kg-CO2)

備考：取引先へ廃棄物のリサイクル率アップの提案は、毎年2社以上提案実施していくこととします。

備考：グリーン商品の購入は、毎年2品目ずつ向上させていくこととします。

4. 主要な環境経営計画

(1) 二酸化炭素排出量の削減のための取組

1) 電気使用量の削減

- ①使用していない部屋空調の停止
- ②空調温度管理の実施
- ③照明の不必要時の消灯の実施
- ④照明器具・空調機の定期的清掃
- ⑤敷地内・壁面の緑化を実行する

2) ガソリン・軽油使用量の削減

- ①適切な収集運搬計画の実施
- ②収集運搬取扱量の平準化の実施
- ③不要な荷物は積まない
- ④アイドリングストップ
- ⑤エコドライブの実施
- ⑥日常点検・定期点検の実施
- ⑦重機類の効率的な使用

(2) 産業廃棄物排出量低減のための取組

1) 最終処分率の低減

- ①徹底した分別による再資源率アップ
- ②廃棄物再生利用率の把握
- ③従業員への選別の教育

2) 取引先へ産廃物のリサイクル率アップの提案(毎年提案する企業2社)

- ①資源物の種類の指導
- ②分別方法の提案
- ③取引先の産廃物の把握

(3) 作業終了後清掃を徹底し環境美化の推進(稼働日に1回)

1) 環境美化活動(稼働日に1回)

- ①作業終了後の清掃及び環境美化
- ②清掃終了後のチェック

(4) 水使用量の削減のための取組

1) 節水活動

- ①手洗い時の節水の徹底
- ②洗車等の時間短縮化の検討・実施
- ③節水シール等の表示
- ④散水の有効的利用

(5) グリーン購入の推進(毎年グリーン購入品を2品採用)

1) グリーン商品の調査・購入(毎年グリーン購入品を2品採用)

- ①グリーン事務用品の調査購入
- ②環境ラベル認定等製品の把握

(6) 地域環境保全活動の推進(毎月清掃活動を2回)

1) 会社内・周辺での環境美化活動(毎月清掃活動を2回)

- ①会社周辺での清掃活動
- ②地域での資源物回収に参加する

5. 環境経営目標の実績

目標項目	2018年度実績	2022年度目標	2022年実績	目標達成 状況	
			達成率		
環境 目 標	1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2)	335,980	322,541 26,878/(月)	371,933 87%	×
	①電気使用量の削減（本 社） (kWh)	27,830	26,717 2,226/(月)	35,504 75%	×
	②電気使用量の削減（う きは工場）(kWh)	110,497	106,077 8,840/(月)	97,369 109%	○
	③ガソリン使用量の削減 (ℓ)	3,532	3,390 283/(月)	3,530 96%	×
	④軽油使用量の削減 (ℓ)	101,872	97,797 8,150/月	116,087 84%	×
2. 受託産業廃棄物の最終処分 率の低減（%）	合計 3,832.87t 埋立処分 395.49t 処分率 10.31%	処分率9.9%	処分合計 4841t 埋立処分 304t 処分率 6.2% 160%	○	
3. 取引先へ廃棄物のリサイクル 率アップの提案社数アップ	2社	2社/年間	2社 100%	○	
4. 作業終了後清掃を徹底	1回/稼働日	1回/稼働日	1回/稼働日 100%	○	
5. 水使用量の3%削減(m ³)	2019年度実績 375	360以下	904 40%	×	
6. グリーン商品の購入	0品目	2品目/年間	2品目 100%	○	
7. 地域清掃活動の事業所周辺 の清掃	2回/毎月	2回/毎月	2回/毎月 100%	○	

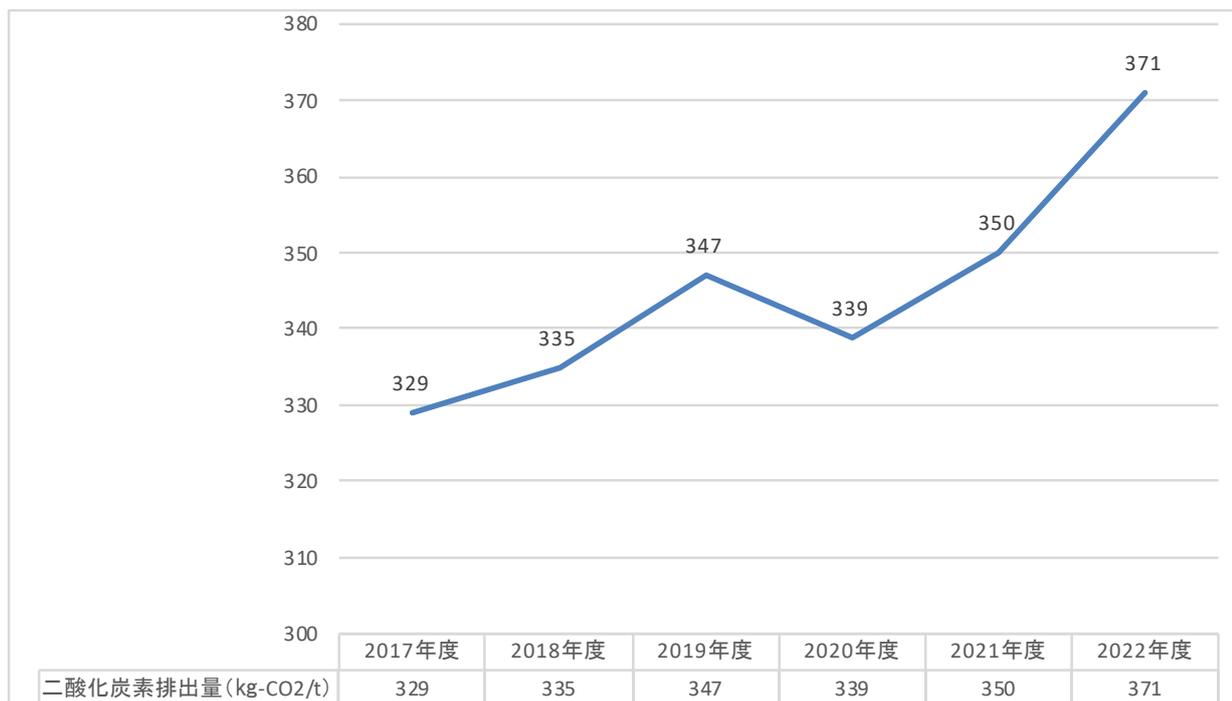
※使用電力の二酸化炭素排出量は、2017年度調整後の排出係数を使用。

（みやまスマートエネルギー0.475kg-CO2）

※増加目標の場合：達成率＝実績値÷目標値×100

削減目標の場合：達成率＝目標値÷実績値×100

二酸化炭素排出量の経年変化図



有機肥料について

動植物性の残さ物を微生物を利用して発酵処理し、肥料・飼料を作ります。

2022年度の食品残さ処理実績：403t

発行時に発生するアンモニアガスと汚水を無害化し、肥料に還元するスクラバー装置を設置しています。



うきは工場全体



うきは工場内部の風景



スクラバー

6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

(1) 二酸化炭素排出量の削減

- 1) 二酸化炭素排出量削減の目標達成はできませんでした。
- 2) 電気使用量は本社工場は目標達成できませんでした。
うきは工場は目標達成しました。この調子で進めていきたいと思います。
- 3) ガソリン使用量については、目標達成できませんでした。営業範囲拡大に伴い使用量増加となりましたが、引き続きエコドライブへの意識を高めていきます。
- 4) 軽油使用量は目標値を上回りました。エコドライブへの意識は高めてますが、稼働増と営業範囲の拡大により、目標達成出来ませんでした。さらなるエコドライブへの教育に力を入れます。
- 5) 今後も売上げが見込まれるので、さらなる社員への徹底した教育・意識改革が必要となる。

(2) 産業廃棄物排出量の削減

- 1) 埋立型最終処分率の低減は目標を達成できました。
この調子で選別の質を高めていきたいとおもいます。
- 2) 取引先様への産廃物の分別の提案もできました。このことは、最終処分率の削減につながっております。

(3) 作業終了後清掃を徹底し環境美化の推進

- 1) 稼働日毎に実行及びチェックが来ています。継続して活動していきます。

(4) 水使用量の削減

- 1) 水使用量は目標達成はできませんでしたが、昨年度と比較すると使用量は減りました。
今後も洗車時の時間短縮や日々の節水への意識をより高めていきます。

(5) グリーン購入の推進

- 1) グリーン購入品の把握をしているので、グリーン購入を優先的に行っていきます。

(6) 地域環境保全活動の推進

- 1) 目標通り、会社周辺と地域周辺の清掃を実施できました。次年度も維持できるようにします。

(7) 次年度の取組内容

- 1) 次年度の環境経営計画は、このまま変更追加なしとする。
- 2) 環境経営目標については、収集運搬量と二酸化炭素排出量の関係をモニタリングした結果収集運搬量÷二酸化炭素排出量の5年間の平均が12.8であることからこれを目標の指針として加える

	2017年度 (17期)	2018年度 (18期)	2019年度 (19期)	2020年度 (20期)	2021年度 (21期)	2022年度 (22期)	平均
産業廃棄物収集運搬量		3,794	4,386	4,349	4,408	5,413	t
CO2排出量	329	336	347.1	339.8	350.0	371.9	百/t
		11.3	12.6	12.8	12.6	14.6	12.8

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規	要求事項	厳守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物委託基準の遵守	適
	産業廃棄物処理の義務	適
	委託基準	適
	保管基準	適
	処理基準の遵守	適
	管理票(マニフェスト票)の交付、保存期間	適
	帳簿の記載と保存	適
	保管基準の遵守	適
	収集運搬基準	適
	処分基準	適
	投棄禁止	適
	焼却禁止	適
	報告の徴収	適
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律	事業者及び使用者の責務	適
	使用の制限	適
騒音規制法	特定施設の設置の事前届出	該当なし
	規制基準の遵守	適
振動規制法	特定施設の設置の事前届出	該当なし
	規制基準の遵守	適
浄化槽法	浄化槽管理者の義務	適
	定期検査	適
特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	事業者及び消費者の責務	適
計量法	定期検査	適

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

※騒音規制法と振動規制法の適用は、自主規制として区域基準値を遵守しています。

8. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

(1) 環境経営取組結果の評価

- 1) 環境経営計画の実施、環境関連法規の遵守については実施できています。
しかしながら、環境経営目標達成に関しては、削減出来ていない項目が多々
あるので、徹底した教育・意識アップが必要となります。
- 2) 二酸化炭素排出量の削減は、目標達成できませんでした。営業範囲拡大に
よる移動距離の増加が要因にありますが、そのことのみを未達成
理由にせず、節電・エコドライブ等を推進していきます。
- 3) 産業廃棄物排出量の低減は、目標達成できました。
引き続き徹底した教育・意識アップを行っていきます。
- 4) 作業終了後清掃の徹底は、稼働日毎に実行・チェック共にできています。
継続させていきます。
- 5) 水使用量は、削減できておりません。再度、社員へ節水の意識向上を徹底します。
- 6) グリーン購入・地域環境保全活動の推進は、計画・目標通り実施されており、
活動の成果がでております。

(2) 環境経営システムの評価結果

- 1) 環境経営方針に従い目標達成に向けて取り組むことができています。但し今後は、
売上の把握、今後の正確な予測を立て、見直しも想定していきます。全社員の
意識向上と協力が必要となっていきます。

(3) 見直しの結果

- 1) 環境経営方針は、現状の方針のまま見直しをせず、継続して実行します。
- 2) 環境経営目標及び環境経営計画は、現状のまま見直しせず、継続して実行します。
- 3) 環境経営システムは、今後の新規事業の動向を見て見直しを行います。

今後も環境意識のレベルアップをはかり、今まで以上に環境活動に取り組むことで、
電力・水・ガソリン・軽油等の使用量の削減を全社員で目指していきたいと思えます。

9. その他 環境活動紹介

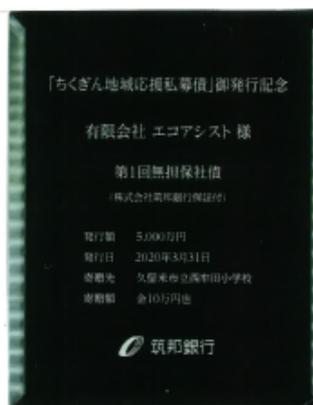
【環境教育訓練の様子】

2023年2月14日に工場で火災が起きた際の訓練を行いました。
対応や手順等、確認していきます。



【特許や認定書等】

↓ 荒木工場には太陽電池パネル処理機があり、特許を取得しています。



【環境測定関連】

(1) うきは工場(発酵施設)の臭気測定



アンモニアが中和され、工場周辺は無臭又は殆ど無臭となります。

(2) 本社工場の騒音測定



↑ 工場と住宅の境界



↑ 工場の前面道路



↑ 工場の作業場

基準値を満たしています(基準値60以下)

【月2回の清掃活動】



【太陽光電池パネル処理機】

太陽電池パネルを1分間に1枚の速度で分離します。
 分離されたガラスは、ガラスの原料、グラスウールの原料として再利用されます。
 金属フレーム、プラスチック等、基盤は再利用されます。



分離前のパネル



分離後の各部材

研削後のガラス

【バイオトイレ】

バイオトイレを製造・販売しています。
 うきは工場の菌床を利用したバイオトイレで、
 自然由来の微生物(放線菌)の力で排泄物を分解・処理します。

